

## 第 9 4 回 宇部市都市計画審議会 議事録（概要）

【日 時】	令和 4 年 2 月 2 4 日（木） 1 4 時 0 0 分～ 1 4 時 5 5 分
【場 所】	総合福祉会館 2 階 ボランティア交流ホール及び WEB 会議システム併用
【出席者】	1 3 名
【欠席者】	1 名
【幹 事】	4 名
【傍聴者】	0 名
【次 第】	1 報告事項 宇部市都市計画道路見直し基本方針について（中間報告） 2 その他
【議 事】	1 報告事項 宇部市都市計画道路見直し基本方針について（中間報告） 事務局から説明
（委 員）	<p style="text-align: center;">〈質疑応答〉</p> <p>見直し基本方針（素案）の路線機能による検証項目の中で、歩行系ネットワークとして、「宇部市バリアフリー化マスタープラン」における生活関連経路の指定または小中学校が 500 メートルの範囲内に存在する場合については評価されることとされている。この度、宇部市の第五次総合計画、前期実行計画の中で、小中学校の適正配置が推進事業として始まり、校区が変わってくる可能性があることを配慮した上で、この見直し検討を同時進行で進めていただきたい。</p>
（事務局）	都市計画道路の見直しは、新年度から具体的に進めていく予定であるが、そこでの決定が、将来にわたり据置きされるわけではない。当面、現在の小中学校の配置において見直しを行い、学校等の計画が定まったときには、当然見直していかないといけない。今後の小中学校配置の動向は注視する。
（会 長）	指摘の点は、まず現時点での小中学校の配置で評価を進めるが、仮に見直しの過程の中でそのような計画が定まれば、適宜評価に入れていくということになると思われる。

<p>(会 長)</p>	<p>それでは見直し専門分科会での議論により反映された点を一部、紹介する。</p> <p>1点目として、見直し検討フローの路線機能による評価や必要性の評価などの確認方法を、それぞれの検証項目について具体的に、明確に記載するようにしている。</p> <p>2点目として、防災の観点については重視して評価すべきという考えから、各評価の中で考慮するようにしている。</p> <p>災害の観点は、二つの方向性があると考えていて、一つは、例えば災害時の小中学校への避難など、必要な施設周辺の道路は適正に確保すべきという考えと、もう一つは、災害リスクの高い地域の開発を促すような道路は整備すべきではないという考えがあると思われる。</p> <p>宇部市では、立地適正化計画の居住誘導区域の設定の中で、浸水想定区域等は考慮していることから、その検証項目の中で、そのような災害リスクの部分も反映できていると考える。</p>
<p>(会 長)</p>	<p>また、委員からの指摘に関連して、どの路線、区間についても、都市計画決定されている以上、何らかのプラス面があり、一方で何らかのマイナス面もあるはずである。プラス面とマイナス面の両方あるのが通常だと考えられるため、最終的に存続、廃止という決断をしていくうえで多段階的に評価する必要がある。例えば小学校に近接した路線は、その部分では評価されるけれども、それだけで直ちに存続が決定する訳ではない。</p> <p><b>(審議結果)</b></p> <p>報告事項 宇部市都市計画道路見直し基本方針について（中間報告）</p> <p>《全会一致で適当と認められた》</p> <p><b>2 その他</b></p> <p>《特になし》</p>